

国際交流 体験記

「もつともつと多くの人たちにも感じてほしい。」



花つくりの村の花市場

以前より中国に興味を持っていたところ、市の広報で知り参加しました。行き先は上海、桂林、昆明、北京。上海と北京は大会、桂林と昆明は地方です。さすが中国は広大です。上海は貿易交流の地、桂林は水墨画の世界。漓江下りにて遊覧船で五時間、それでも半分の景色なのだそうです。

まちおこし・地域づくりの現状視察として花作りのまちを訪ねました。まず驚いたのはスケールの大きいです。視界から眺めた広さは、地平線

8月末から7日間、あすの秋田を創る中国研修へ

山口 保子さん（たつみ町）

まで届くぐらいビニールハウスの数々で、それぞれの農家の人たちのハウスなのだそう。そこから生花市場に出し、中国国内では上海へ、今では日本をはじめ各国に輸出拡大をしているのだそうです。

北京に入り万里の長城、故宫博物院などを見学し、人民大会堂では招待状を配布されて歓迎夕食会に臨みました。さすが中国最大の政治の場、歴史の流れと重さに圧倒されどおしでした。

中国の国の広さと、社会主義国になり人民一丸となって国づくりに拍車をかけて、先進国日本を追い抜くという迫力と強い愛国心を感じて、これからの日本に不安を幾ばくか感じました。

中国研修という旅行で、外から日本を見つめることができました。そしてもつともつと多くの人たちも参加して感じてほしいと思いました。とっても考えさせられた、勉強になった国際交流旅行でした。

9月にドイツ・フランスへ9日間

田山 美貴さん（沼館1区）

ドイツに着いて寒いということ、緑がきれいでどの家も花をきれいに飾っていて環境がすばらしいなと思いました。

農家民宿に泊る二泊三泊泊しましたが、どちらも温かく迎え入れてくれました。言葉は片言しか通じないものの、コミュニケーションを取ろうとお互いに話したりして非常に充実した時間が過ごせました。

日本に比べると食事は質素であるものの、朝食べたフランスパン、牛乳は大変おいしく忘れられません。

交流会では、私たちが用意したドイツ語で歌ったり、日本食を作ったりの出しものが気に入ってくれたようでした。意外に天ぷらは好んで食べていました。

フランスでの視察先はオルネースボア市で、パリから比較的近いところでした。環境改善に力を入れていて、環境コンクールなどに参加したり街路樹の高さを統一したりして緑がとてもきれいなところでした。

ドイツでは家を建てる時、色の規制があるそうですが、オルネース



「表情、身振りなどでコミュニケーションがとれるんだな。」
農家の地下で交流会。この日は習字・着物を披露したり、巻きずしを作ってみたりしました。（上から3列目右から3番目が田山さん）

ボア市は空港の近くなので建物をあまり高くしてはいけないそうです。かなりの制約があつて、環境を整えていくことは難しいと思いました。日本でも市町村がもっと環境問題に対して力を入れると街並みは変わるのではないのでしょうか。

今回参加した人たちといろんな話ができ、また外国人と言葉が通じなくても表情、身振りなどでコミュニケーションがとれるんだなと思いました。今後の生活に大いに参考となった研修旅行でした。